

農業委員会だより



主な内容

- **農業委員会活動報告**
 - 市・議会へ緊急要望書提出……………2
 - 農地部会先進地視察研修報告……………4
- **農業委員会からのお知らせ**
 - **農地の賃借料情報**……………5
 - 生前一括贈与の方へ……………6
- **地域農業情報**
 - 農業したいまち栗原……………8
 - 農家レストランみ～つけた！……………8



荒廃農地を

なくそう！

平成25年度に続き、10月28日、11月6日、27日に市内3か所において、今年度も荒廃農地を復元するモデル事業を実施しました。およそ57アールの荒れ地を、農業委員が自らトラクターや草刈り機を持ち寄り、雑草や柳を刈り払い耕起しました。

復元した農地は、地元認定農業者や担い手に貸し出し、生産再開につなげていきます。



新年のご挨拶

栗原市農業委員会
会長 鈴木康則



新年あけましておめでとようございます。

皆様にはご家族お揃いで、新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、台風や集中豪雨が多い中、秋には豊作にいたる矢先、米価の急激な下落となり、稲作農家への大幅な所得減収となりました。とりわけ大規模農家へは、計り知れないダメージを与えています。

この事態は、農業後継者にとって生産意欲を喪失させ、今後の日本の農業に対する不安を倍増させるものです。

また、農政の大改革を進める一方で、わが国の農業・農村の根幹を揺るがしかねないTPP交渉の動向によつては、米は勿論、他の農産物価格にどのような影響を与えるものか前途多難な農業情勢であります。

こうした難局を乗り越え、農業者の所得を増やし、持続可能な力強い農業と活力ある農村を構築するためには、若い担い手を育成し、官民一体となり連携していくことが急務と考えます。

厳しい農業情勢の中、農業者の代表機関としての農家の相談、担い手の育成、意見公表、建議等の業務を積極的に取り組んでまいりますので、農家各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

新年を迎え、市民各位のご健康とご多幸をご祈念し挨拶いたします。

栗原市・栗原市議会へ緊急要望書を提出 米価下落対策に関する緊急要望書

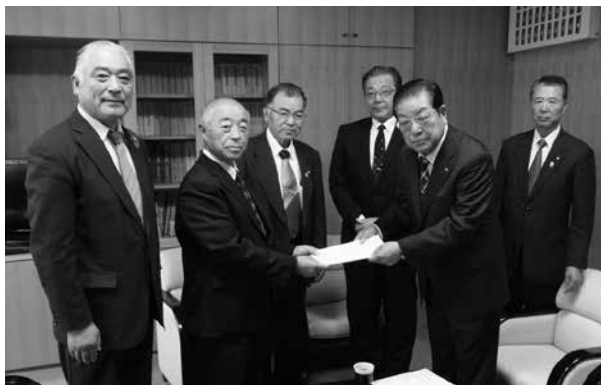
10月20日(月) / 栗原市役所市長室・議長室

鈴木会長と菅原会長職務代理、狩野農政委員長と尾形副委員長が、平成26年度産米の米価下落に係る農業所得減少に伴う農家支援について、佐藤市長と石川議長、五十嵐副議長に緊急要望書を提出しました。

先般、平成26年産米の概算金の価格が公表され、史上最低の



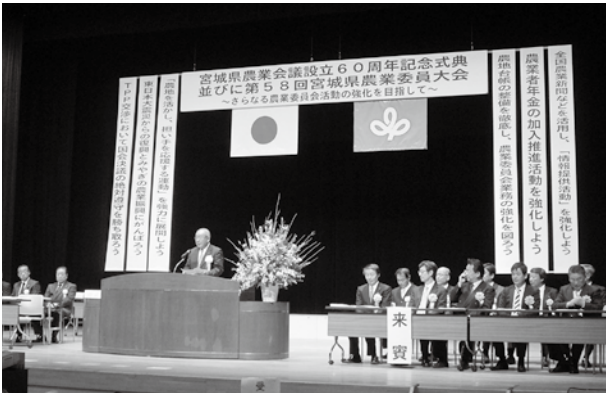
▲佐藤勇市長に緊急要望書提出



▲石川正運議長に緊急要望書提出

額に下落となったことに伴い、農業委員会では、地域農業へ与える影響が大きく、農家支援策が緊急に必要であることから、ナラシ対策や利子補給、無利子資金貸付制度の創設などの支援措置について要望しました。

佐藤市長や石川議長からは、しっかり対応していくと話していただきました。



▲農業委員大会のようす

第58回宮城県農業委員会大会 更なる農業委員会活動の強化を目指して

11月19日(水) / 大和町「まほろばホール」

宮城県内の農業委員が一堂に会する「第58回宮城県農業委員会大会」が開催されました。

大会では、「農業委員会組織・制度見直し」や「新たな食糧・農業・農村基本計画」、「TPP交渉における国会決議の絶対遵守」を求める要請等が、満場一致により決議されました。

また、長年にわたり農業委員として勤続された方々や、今年度は、宮城県農業会議設立60周年を記念して、農業会議に長年の貢献のあった方々にも感謝状等の授与が行われました。

受賞おめでとうございます

左記の方が受賞いたしました
○宮城県農業会議設立60周年記念表彰

◇宮城県知事感謝状

(農業会議会議員4期以上)
門傳 仁委員 (一迫)

◇全国農業会議所会長感謝状

(農業会議会議員3期以上)
千葉 幸雄 前委員 (花山)

◇第58回宮城県農業委員会大会表彰

(永年勤続農業委員15年)
◇宮城県農業会議会長表彰
小野 大介 委員 (若柳)
及川 正一 委員 (高清水)
佐々木 弘 委員 (志波姫)
白鳥 慎悦 前委員 (築館)
佐竹 栄一 前委員 (栗駒)

東北・北海道ブロック女性農業委員研修会 女性農業委員が参集しました

11月28日(金) / 青森市



委員
千葉優子

1道6県200名の参加を持って青森市で研修会が開催されました。

研修会では、全国農業会議所の山村氏より女性農業委員登用の視点から、7月実施された統一選挙の結果報告や組織制度改革とこれからの委員活動のテーマで情勢報告があり、2名の事例報告へと続きました。

事例報告では、苫小牧市農業委員会の丹羽会長より、農業は男女が共通の意識や目標を持ち、共同の経営をしていくことが大事で、当然、農業委員も女性の参加が必要だという事でした。

また、岩手県女性農業委員ポラーノの会長松本氏は、平成7年女性農業委員誕生から現在ま

での組織づくりや特色ある活動を力強く話され、今後も更に行動する女性がたくさん続いてくれることを願い、環境づくりをしたいと思います。

最後の記念講演では「元氣な農業と農村の鍵は女性が握っている」と楽しく、力強いお話で締めくくっていただきました。自信を持って、一人でも多くの仲間と協力して突き進むことだと感じてきました。



▲参加した女性農業委員

農業者年金に加入しましょう！

農業者年金は農業者の方なら広く加入できる年金です。

詳しくは、農業委員会事務局へお問い合わせください。

電話 42-1239

農業委員の先進地視察研修実施

第1農地部会 耕作放棄地の解消に取り組む

12月4日・5日／福島県喜多方市
宮城県亘理町

耕作放棄地の解消に取り組んできた農業生産法人株式会社エガワコントラクターを視察しました。農業土木の技術を活かし参入して、整備した農地に薬用植物・じゃがいも等を作付けし、受託面積は、8 haです。特に、6次産業化への取り組みでは、喜多方なつはぜサイダーの加工・商品化に努め、さらに、農業経営基盤強化のため主力作物の確立等地域との連携を図っていききたいとの事でした。

翌日は、舞台アグリイノベーション(株) 亘理精米工場の施設見学です。震災後の復興支援などの思いから立ち上げ、15℃以下の低温管理で徹底した品質の管理を追究し、商品の品質向上に努めています。食味の基準を「見える化」することが大切で、日本の食文化

であるご飯が美味しければ、そしてお客様のニーズに合わせていくことにより定着するのではという事でした。

(曾根金雄委員)



▲第1農地部会視察のようす

第2農地部会 栽培のコストダウンと直販

12月2日・3日／茨城県龍ヶ崎市
福島県いわき市

茨城県の(有)横田農場と福島県の(有)とまとランドいわきを視察しました。横田農場は、水稲約120 haの経営規模で、多品種の導入や、栽培体系の組み合わせにより作業適期の幅を広げています。何よりも驚いたのは、田植機8条植1台、コンバイン6条刈1台で作業をしていることです。この事により大幅なコストダウンを可能にしています。米の9割は直接販売し、米粉を使ったスイーツも加工販売しています。

とまとランドいわきでは、温暖な気候を利用した連棟ハウスで、主にトマト2・3 haを年1作長期取りの水耕栽培です。長期取り、排液のリサイクル、雨水や暖房機のCO₂利用などコストダウンと環境にやさしい栽培をしており、生産の半分が直売されていることにびっくりしました。

この二法人の共通点はコストダウンと直販です。そして何よりも地域、消費者との交流事業を行い農業への理解や食の重要性を訴えている点です。そして、地域の活性化のため、頑張っている所に感心させられました。

(小野大介部会長)



▲第2農地部会視察のようす

第3農地部会 先進地事例二ヶ所を視察して

11月11日・12日／青森県五所川原市
岩手県葛巻町

耕作放棄地対策を先進地事例に学び地域農業の活性化を図るため、第三農地部会は二ヶ所を視察しました。

初日は青森県五所川原市の(有)豊心ファーム。家族で有限会社化し、約250 haの戦略的農業経営をしている所でした。乾田直播をはじめ、大豆の集団転作、稲ワラのロール処理等、その規模の大きさと取り組む姿勢に目を見張りました。米価の下落は、耕作規模の大きさに比例して甚大だというのが、それに立ち向かう会長さんのお言葉に闘志を感じました。

翌日は岩手県葛巻町の放棄地対策です。役場の二階で町農業委員会代表の方々と事務局から農林水産大臣賞に輝いた話を聞くことができました。いずれも詳細な現地調査結果を分析し、解消に向けて合理的丁寧に対処していく過程には学ぶべき点が多く、とても有意義な研修でありました。(千葉優子委員)



▲第3農地部会視察のようす



▲田園地帯の中の荒れた田んぼ

市内の遊休農地の実態把握と発生防止・解消指導や農地の違反転用発生防止等のため、各農地部会で農地パトロールを実施しました。

パトロール実施前に、農業委員による事前調査を行い、現地調査を実施しました。

調査の結果、適正に利用されている農地が多い中、何年も荒れた状態で雑木も発生している農地も見受けられました。

農地パトロール（利用状況調査）
農地パトロールを実施しました
 11月11日～18日／栗原市内



▲農地パトロールのようす

てこげ理適せん等の言や貸借
 いますことにいくつな管などあつ復元の助

今後、このような農地管理指導が必要な農地の所有者や耕作者に対して、口頭や文書による指導を実施するほか、復元の助



栗原市の農地の賃借料情報

平成25年12月から平成26年11月までの1年間に賃貸借権を設定した賃借料の水準（10アールあたり）は、下記のとおりです。今後、農地を貸し借りする際の参考としてご利用ください。

田（水 稲）

地区名	平均値		最高値		最低値		筆数	
	金納	物納	金納	物納	金納	物納	金納	物納
築館	11,800円	56 kg	20,000円	140 kg	6,100円	30 kg	168件	155件
若柳	16,200円	82 kg	22,000円	90 kg	5,300円	60 kg	567件	23件
栗駒	11,900円	52 kg	18,000円	67 kg	5,600円	30 kg	421件	190件
高清水	14,500円	84 kg	22,000円	131 kg	8,000円	22 kg	22件	133件
一迫	13,600円	71 kg	27,000円	120 kg	6,000円	30 kg	689件	135件
瀬峰	10,600円	58 kg	19,500円	110 kg	5,100円	29 kg	398件	50件
鶯沢	11,200円	39 kg	15,000円	116 kg	6,400円	16 kg	109件	69件
金成	9,800円	57 kg	18,800円	90 kg	7,600円	22 kg	25件	1,592件
志波姫	14,000円	71 kg	23,400円	120 kg	5,000円	30 kg	493件	38件
花山	8,100円	37 kg	9,000円	58 kg	5,000円	30 kg	39件	44件
栗原市	13,200円	58 kg	—	—	—	—	2,931件	2,429件

※ 特別な事情などで賃貸借されたデータは除いています。
 ※ 畑については、提供できる賃借料情報が少ないことから表記していません。

農業者年金に加入しましょう！

農業者年金は農業者の方なら広く加入できる年金です。

詳しくは、農業委員会事務局へお問い合わせください。 電話 42-1239

忘れずにご提出ください！

農業委員会委員選挙人名簿搭載申請書



農業委員会委員選挙人名簿は、毎年1月1日現在で、栗原市に住所がある資格要件を備えている方からの申請に基づき、選挙資格を審査したうえで作成されます。

この選挙人名簿に記載されていないと、投票も解散請求（リコール）の請求も出来ませんので、忘れずに申請してください。

資格要件

市内に住所を有する満20歳以上の方で、次のいずれかに該当する方。

- ① 1,000㎡以上の農地について耕作の業務を営む方
- ② ①の同居の親族またはその配偶者で、年間おおむね60日以上耕作に従事していると農業委員会が認めた方
- ③ 1,000㎡以上の農地について耕作の業務を営む農業生産法人の組合員、社員または株主であって、年間おおむね60日以上耕作に従事していると農業委員会が認めた方

申請の流れ

昨年12月中旬に申請書を対象世帯へ行政区長経由で配布しております。

申請書へ必要事項を記載し、下記のいずれかの方法で提出してください。

- ① 1月7日(水)まで
各行政区長宅へ届ける
- ② 1月8日(木)まで
に総合支所へ提出する

農地中間管理事業をご活用ください！

- 農地を貸したい人は…
機構に10年以上の期間貸し付ける場合には、一定の要件を満たした場合に、機構集積協力金の交付対象になります。
- 農地を借りたい人は…
借受希望者は、機構が行う借り手の公募に申請していただかないと機構から農地を借りることはできません。
- 今後の借受希望の公募スケジュール
平成27年1月16日(木)～
2月16日(月)まで、
下記の相談窓口で受付します。
- 相談窓口
市：産業経済部農林振興課、農業委員会、各総合支所市民サービス課
JA：営農部営農企画課、各営農センター

女性農業者の皆さん 農業者年金に加入しませんか？

女性農業者の老後は、国民年金＋農業者年金が基本です！

国民年金の支給額は月額最高64,400円、夫婦お二人で129,000円です。一方、高齢農家の家計費は夫婦お二人で、238,000円が必要になるデータがあります。

**農業者年金は国民年金の不足分を
しっかりカバーします。**

●農業者年金に関するお問い合わせは…

栗原市農業委員会事務局 ☎42-1239
JA 栗っこ推進企画課 ☎23-2115

農地の生前一括贈与により納税の猶予を受けている方へ

猶予を受けている方は
3年に1回の届出が必要になります

贈与税の納税猶予
築館税務署

不動産取得税の
徴収猶予
北部県税事務所

届出書を送付
(1月末頃)

猶予を受けている方 (3年に1回が対象)

届出書を提出
(2月16日まで)

各総合支所市民サービス課 産業建設係

贈与税の納税猶予を受けている方
も貸付けが可能です

猶予を受けていると
農業経営の廃止・譲渡・転用・第三者
へ貸付けが禁止されています。

贈与翌年の3月15日より20
年以上 (65歳以上の方は10
年以上) 経過していれば・・・

農業経営基盤強化促進法等に基づく一
定の事業を用いて、農業委員会を介して
認定農業者等へ貸し付けが可能です

詳しくは農業委員会までご相談ください

贈与税のしくみが変わりました！

○税制改革により適用対象者の範囲の拡大など
相続時精算課税制度の適用要件が変わりました。

【改正前】

【改正後】

贈与者

・贈与をした年の1月1日において
65歳以上の者

贈与者

・贈与をした年の1月1日において
60歳以上の者

受贈者

・贈与を受けた年の1月1日において
20歳以上の者
・贈与を受けた時において贈与者の
推定相続人

受贈者

・贈与を受けた年の1月1日において
20歳以上の者
・贈与を受けた時において贈与者の
推定相続人及び孫

※平成27年1月1日以降に農地を贈与し、相続時精算課税制度を選択する方の適用要件が
拡充されました。

※贈与税については、農地以外にも対象となります。詳しくは最寄りの税務署へお問い合わせ
ください。

農業者年金に加入しましょう！

農業者年金は農業者の方なら広く加入できる年金です。

詳しくは、農業委員会事務局へお問い合わせください。 電話 42-1239

農業したいまち 栗原

質の良い牛乳を目指して！

花山上原地区の野村泰仁さん(40)は、両親、妻、子供2人、祖父の7人家族の畜産農家です。

野村さんは、花山上原で酪農するため、5年前に登米市から一家で栗原市に転入してきました。

牛舎には、約55頭の乳牛がおり、毎日朝晩の搾乳や、乳牛の世話を家族だけで頑張っています。

搾乳した牛乳は、大崎市のみちのくミルク(株)などへ出荷し、生協の鳴子上原牛乳として製品化されています。

冬には牛舎の入り口が塞がるほどの積雪がある上原地区の暮らしは、除雪作業が一番大変だそうで、転入当時からずっと地区の皆さんの優しさに助けられて来たそうです。

県や市開催の畜産共進会乳用牛の部で毎年のように受賞している野村さん。現在酪農家が減少している中で経営し続けていくのは大変ですが、さらに質の良い乳牛に改良して乳量を増やし、現在の体制を強化していきたいと語っていました。



▶野村さんご一家

農家 レストラン み~つけた!!

R398WOODY SPOT 夢眠 (むうみん)

☎0228-52-2221・090-2369-5536
《営業日》毎週金・土曜 《営業時間》11:30~16:30

一迫地区の齋藤美佳子さん(64)が平成25年12月に農家レストラン『夢眠 (むうみん)』を始めた。

店は国道398号を一迫総合支所から約2km花山方面に進み長崎川に掛かる小さな橋を渡った所で、自宅敷地内の手作りログハウス。店内は、薪ストーブが置かれ、センスの良いインテリアが温かい雰囲気を出している。

メニューの「手ごねピザ」は絶品で、トッピングのチーズやベーコン、野菜やトマト、一迫名物の川口納豆など、どれも地元で採れたものを使用している。自慢の納豆ピザのソースは、手作りのぼっかけ(ふきのとう)みそを使用。齋藤さんは、「友人や近所の人など多くの人に支えられてやってきた。誰でも気軽に集える場を作っていきたい」と話していました。

メニューは、ピザ、サラダ、10種類の野菜を使ったスープのおまかせランチ。コーヒー、ハーブティー、抹茶なども…。営業日時以外も相談に応じる。



▲手作りログハウスの店内



▲絶品の手ごねピザ

編集後記

農業・農村では、担い手不足や高齢化が一段と進み、小規模農家の離農や認定農家、担い手への農地の集積が徐々に進みつつあります。これも米価の下落、交付金の減額など、稲作へのこだわりや農家への魅力の衰退が最大の原因と考えられます。

我々農業委員は、地域農業の振興・発展のため、農地制度の適正な執行を図り、農業者が自信を持って農業に取り組めるよう、今以上頑張っていきたいと思えます。(及川正一委員)